

第6回 南信州民俗芸能継承フォーラム

～南信州の誇り「民俗芸能」の未来を共に考えよう～

南信州地域にとって民俗芸能は誇るべきものであり、リニア時代の地域づくりに生かすべき貴重な資産です。また、その存在や取り組みが、地域住民の結束を強固なものとし、コミュニティ存続の原動力になり、その維持・継承は持続可能な地域づくりのための重要な役割を担っています。

今回のフォーラムでは、「風流踊(ふりゅうおどり)(※1)」や、「神楽(※2)」がユネスコ無形文化遺産への登録を目指している現状を踏まえ、この機会をどのように生かして魅力ある地域個性を発信するか、持続可能な地域社会の構築に向けたビジョンと施策をどのように描くべきか、民俗芸能団体、民間企業、行政の役割をそれぞれの立場で考えます。また、民俗芸能を将来にわたって継承していくために、若い担い手、女性など新しい力が、どのようにして民俗芸能に関わっていくことができるのか考えます。

※1 華やかな趣向を凝らした衣装や持ち物を使い、歌や笛などで囃して踊るもの。南信州地域には、「新野の盆踊」や「和合の念仏踊」などがある。

※2 神事において神に奉納するため奏される歌舞。南信州には、「遠山の霜月祭」や「天龍村の霜月神楽」などがある。



日時● 令和3年2月6日(土)
13:00～16:00

入場
無料

場所● 飯田市鼎文化センターホール
(飯田市鼎中平1339-5)

講演

講師 國學院大學教授 小川直之氏

テーマ 民俗芸能と地域社会
—魅力ある地域個性とは何か—

パネルディスカッション

テーマ コロナ禍を乗り越え、未来に繋ぐ

ファシリテーター	長野県立歴史館館長	笹本正治氏
パネラー	上村遠山霜月祭保存会	宇佐美秀臣氏
	和合念仏踊り保存会	菊島延幸氏
	天龍村地域おこし協力隊	本多紗智氏

講評

元文化庁伝統文化課主任文化財調査官 宮田繁幸氏



講師 小川直之氏 プロフィール
現職=國學院大學教授(文学部)、折口博士記念古代研究所、柳田國男記念伊那民俗学研究所所長、博士(民俗学)
主な著書・編著=「折口信夫・釋道空—その人と学問—」(2005年)、「日本の歳時伝承」(角川ソフィア文庫、2018年)、「講座日本民俗学1 方法と課題」(2020年)、「文化財の活用とは何か」(2020年)など

新型コロナウイルス感染症への対応について

- ウイルス感染の可能性のある方、咳や発熱、倦怠感など体調がすぐれない方はご来場をお控えください。
- ご来場時のマスク着用及び咳エチケットの励行にご協力ください。
- 会場入場時の手指の消毒にご協力ください。

主催=南信州民俗芸能継承推進協議会
(南信州広域連合事務局内)
電話 0265-53-7100 FAX 0265-53-7155
E-mail shinkou@minami.nagano.jp

南信州民俗芸能ナビ 検索



共催=長野県、長野県教育委員会、飯田市教育委員会、飯田市美術博物館、柳田國男記念伊那民俗学研究所、南信州広域連合
後援=日本民俗学会、民俗芸能学会、藝能学会、飯伊市町村教育委員会連絡協議会、伊那谷民俗芸能団体連絡協議会